

開催日時 2017年7月15日(土)、16日(日)、
8月5日(土)、6日(日) 9:30~17:30

主催 大学院農学研究院 リスコミ機能教育プロジェクト

会場 高等教育推進機構S棟2階 S8講義室

本企画は、食と農のリスクコミュニケーションについて学ぶ入門編の講義です。“つくる”、“つたえる”、“つなげる”をキーワードに、座学と実習で構成される4日間の講義を、大学院生を中心とする16名が受講しました。

はじめに受講生は、リスクやリスクコミュニケーションについて座学で学び、その後2グループに分かれて、リスクコミュニケーションの実習に取り組みました。各グループは、それぞれ「ウェルシュ菌を中心とする食中毒」と「カフェイン中毒」をテーマに、実際にリスクコミュニケーションを実践するため、企画段階から準備を進めました。最終日の実習には18名の市民の方に参加いただき、受講生がそれぞれのテーマについて解説を行った後に、そのリスクについてどう対処していけばよいか、受講生と市民の方が一緒に考えました。

終了後に実施したアンケートでは、参加いただいた市民の方からは、「リスクについてあらためて考える良い機会になった」といった回答が多くみられ、受講生の満足度も高いものとなりました。

今後もリスコミ機能教育プロジェクトでは、リスクコミュニケーションについて学ぶ講義を開講していく予定です。



『ファシリテーター論 -食と農の分野-』の様子



リスクコミュニケーションの実践